FIWC

Friends International Work Camps
関西委員会

定例委員会報告　2002.1

参加者：劉成道、柳川義雄、戸張岳陽、的野博記、槻美代子、福田まや、見上静、福田きよ子、松本モト、入澤隆一、中西章文、藤山恭子、山道ラウシ、以上13名（2002年1月19日交流の家にて）

○年末キャンプについて

2001年12月26～30日にかけて交流の家で年末キャンプを行いました。FIWC関東や広島から多くの参加がありました。

ワーク：廊下の床の張り替え

慣れていない作業のため大変でした。

勉強会：名前について考える勉強会

参加者それぞれがもっている名前の思い出を語ってもらったり、在日朝鮮人の名前についてのお話をしたりしました。とても集中した場を持ててよかったと思います。報告書を作りました。参加された方には近日中にお送りします。

交流集会：

関西、関東、広島各委員会からの年間活動報告を行いました。今回は最初、各委員会のメンバー同士が集まってその場で活動報告書を作るというちょっと変わったやり方をしました。とても面白かったと思います。

餅つき：菅原園と大倭の餅つきに参加しました。

会計報告：参加費1日1000円、忘年会は別で徴収1000円で行い、7000円余りました。

※ 年末キャンプ参加者名簿を作りました。参加者名簿を書いてくれた方には近日中にお送りします。（戸張岳陽）

○第2回交流の家NPO法人化についての話し合い

先月9日交流の家で交流の家NPO法人化についての話し合いを行いました。法人化に向けて具体的な話し合いを進めています。法人化をするにあたり、交流の家の目的として(1)ハンセン病資料センターとして活用、(2)ハンセン病療養所の方との交流、(3)ワークキャンプセンターとしての活用（金銭的支援など）などを考えています。これから申請にむけて定款を作っていきます。3月ごろには定款を完成させたいと思っています。

第3回話し合いを1月27日（日）午後1時から、交流の家にて（柳川義雄）

○中国キャンプについて

昨年12月10～16日にかけて本多智子が下見に行ってきました。今年も昨年同様広州にあるヤンケン村でキャンプがしたいことを伝えてきました。

中国キャンプ開催が正式に決定しました。

日程がかなり迫っていること、キャンプサイトの問題等で参加に関して制限がつきます。関心のある方は劉成道まで（劉成道）

○光明園キャンプがしたい

先日、志賀純子が光明園を訪れて、光明園でキャンプをしたい意向を伝えてきました。3月ごろ開催するかもしれません。（志賀純子）

○韓国キャンプについて

例年通り、韓国キャンプを開催する場合、そろそろ打ち合わせをしていかなくてはいけないと思います。僕自身これからも韓国キャンプに関係していきたいと考えています。そこで韓国キャンプについての話し合いを今月定例会の翌日午後1時から行いました。話し合いの詳細はFIWC関西のメーリングリストや来月の定例会報告で伝えます。（劉成道）

○訃報

ヤマギシ会に関わってきた方で、以前、交流塾などのFIWCの活動にも関わっていた新島淳良さんがお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りします。

○お子さん誕生

キャンパーの氏次孝臣さん、氏次麻理さん（旧姓青木）のお二人の間にお子さんが誕生しました。お子さんの名前は祝詞（のりと）と言います。

○交流の家から

維持費カンパをいただいた方々（敬称略）2001.9～

湯浅進、神谷文義、七条秀雄（下川亘）山口貴士、森岡律子、秋山栄吉、磯部清昭、塚本勲、二井田和亮、寄田猛・晴代、梅本玲子、中村昇次、松本モト、神谷理史、須川浩和、岡本響

子・義治、宮本秀樹・節子、辻征雄、川本了造、井上祥子、三宅克英、杉浩史、南井弘次
ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。（福田きよ子）

○FIWC関西会計から

カンパをいただいた方々（敬称略）
南井弘次3000円、鈴木由美4000円
ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。（志賀純子）

○2002年中国ワークキャンプ 参加者緊急募集！

日程：2002年　2月19日～3月1日
場所：中国広州　ヤンケン村（ハンセン病快復者定着村）
費用：7万円程度（日本-中国往復交通費含む）
主なワーク：シャワー室の設置、トイレの設置、天井の設置関心のある方は連絡を！（劉成道）

○2002年中国ワークキャンプ　趣意書

中国ハンセン病快復者定着村ワークキャンプ資材費購入への募金のお願い

2002年1月19日
1984年、私たちFIWC関西委員会は韓国ハンセン病快復者定着村「相信農場」で道路舗装のワークキャンプを、韓国忠南大学校のサークル助癩会（ジョナヘ）と合同で行っていました。私たちが韓国の定着村で73年にキャンプを始めてから12年目、韓国の定着村が豊かになってきた頃、当時のジョナヘの代表、ファン＝ユンギュが、「今後、韓国内での仕事は少なくなっていくだろう。これからは、日韓合同で他のアジアの国へ応援に行こう。」と夢を語りました。
その夢が昨年の2月、ジョナヘのOB、カン＝サンミンが新たなワークキャンプ団体、KIWCP（Korea International Work Camp For Peace）を立ち上げ、彼が中心となって中国のハンセン病快復者の村（ヤンケン村）で日韓合同のワークキャンプを行うことができました。（KIWCPは現在、社団法人化され名称がIWCPに変わりました。）
今年も昨年同様2月19日からヤンケン村でキャンプを行います。昨年、ヤンケン村でのキャンプを通じて私たちは、中国社会のハンセン病との関わり方や村人らの生活様式など、様々な情報得ることができたと同時に、数々の疑問を残してきました。今回のキャンプでは、私たちが中国におけるハンセン病問題に対して、どのように関わりをもつべきかを考えていきたいと思っています。
ヤンケン村にはハンセン病快復者たち43名が暮らしています。元々は1957年、ハンセン病の治療のために政府の力によって作られた村です。現在、平均年齢65歳を越えており、村人の9割が目を患って不自由な生活を強いられています。昨年は台所のかまどから溢れる煙や灰が目に悪い影響を与えているとの報告を受け、台所改修工事を行いました。今年は村人らの要望であるシャワー室、トイレ、各村人の部屋の天井の設置をできるだけこなしていきたいと考えています。そのために資材購入費約20万円が必要です。皆様の御協力お願いします。
FIWC関西委員会中国キャンプ責任者
FIWC関西委員会 委員長　劉成道

募金使途：シャワー室、トイレ、天井の設置にかかる資材費
キャンプサイト：中国広東省広州市ヤンケン（Ynagkeng）村
振込先：水都信用金庫　箕面東支店
普通預金口座0273247　FIWC中国キャンプ　代表者 本多智子

○次回の定例会は2月16日（土）19:00～

交流の家にて

次回定例委員会の担当は志賀純子です。
今月の定例委員会担当は、槻美代子でした。
文責は劉成道でした。

定例委員会報告を読まれた際、質問、意見等ございましたら、劉成道、および、報告書文責担当までお願いします。

FIWC関西委員会　委員長　劉成道

FIWC関西委員会
631-0042 奈良市大倭町2-33 交流の家

※PDF版では、個人の電話番号などの連絡先を掲載しておりません。必要な場合は下記までメールにてお問い合わせください。
PDF版制作：茂木 亮　mog@mognet.org

モグネット
www.mognet.org
ワークキャンプの写真が満載！
ハンセン病関連の書籍も充実！
ワークキャンプ・イベント一覧アリ